

# ガンバレ！！いしかわ農業の担い手たち！ ～新規就農者からのメッセージ～

## 農業に新風を巻き起こす人 見参！！

ニューファーマー

古賀 勝(47歳)

### プロフィール

佐賀県久保田町生まれ。  
佐賀県立東高等学校を卒業。  
1981年 渡米し、マネーマーケットを視察。  
明光商品(株)(現イチ・イス・フューチャーズ(株))に入社し、株・債券・ファンド・先物etcの業務を遂行。  
その後、(株)名古屋証券取引所TIP(名証テクニカル・インベストメント・プランナー)に認定される。  
2006年 HS証券グループ会社取締役退任。  
(現澤田ホールディングス(株)・イチ・イス・フューチャーズ(株))



### 就農のきっかけから実際の就農まで

25年間金融市場にて資産運用業務に携わってきました。これから先も投資の世界で活躍するのかそれとも違う分野でチャレンジするのか人生設計をしてみました。

亡父がよく私に語ってくれたことがあります。「農業はいいぞ」と。私の実家は米麦を中心とした専業農家でした。農業を誇りにしていた父の仕事に継ぐ決意をしたのが始まりでした。いわゆる家業を継いだこととなります。

金融業界に携わって初赴任した地が石川県であり、ずっと第二の故郷と思っていた石川県に戻り、県庁を訪ねました。県庁からアグリ塾そして21機構さらには農業法人研修と行動を起こしました。今は白山市の下吉野地区にてトレーナーのご指導の下、トマト栽培に取り組んでいます。

### 就農してから現在まで

現在、トマト栽培に取り組んでいます。ビニールハウス12棟(20a)で5,400本作付けしています。労力分散のため、夏秋と抑制の作型を導入し、定植時期を4段階にずらして栽培しています。品種は新品種りんか409でチャレンジしています。

もともと稲作に取り組みたいと考えていましたが、アグリ塾にて方向転換を図りました。県の農業関係者がとても真剣で、まさに私の仕事哲学に共通するものがあり、今もパッションを失わなっています。しかも就農する以前に関わった関係団体、個人そしてその知り合いが今でも応援してくれています。このことも今の私の支えになっています。唯、個人での作業なだけに仲間とのかかわりの時間がとても少ないことにストレスを感じる時があります。

### 将来はこんな農業をめざします！

5年計画を立てて行動しています。目標設定したアクションプランを考案し、実行することで達成する。

- 1年目(2007) - 農業に携わり(農作業を体験し今後を決定する判断にする)
- 2年目(2008) - 現場実践(現場に入り、地元と関わる事により農業人になる)
- 3年目(2009) - 栽培作物拡大(トマト、葉野菜、根菜類、その他)
- 4年目(2010) - 採算(バランスシート、キャッシュフロー等にて対応する)
- 5年目(2011) - 研修制度、人材育成(企業は人材なり企画あり)



### 今後就農を目指す人へ

思ったことは行動してみる。それが一番大切なこと。目の前にある場面は色々変化します。ならば、その場面を自分で作り出したほうが人生は2倍楽しめると私は考えます。

但し、思いつきや興味半分で行動をとるものとするならば、その業種の先人に礼をなさないし、自分の為にならない事を理解しておくことである。

農林事務所所長よりひとこと  
投資の世界に生きてきた人らしく5年後を見据えたアクションプランをさらりと作り、ステップバイステップで課題を克服していくやり方は流石。お会いした時はトマトが病気に罹り少々意気消沈気味でしたが、エジソン曰く「失敗は成功の母」の精神と持ち前のポジティブな性格で乗り越えていくことと信じています。

目標は古賀塾？で多くの若者が集まり農業研修をやっている姿。夢実現に向かってレッツ・ゴー!!